

アンジュール いつの日か…
unjour 2017 秋
 いつもどこかで素敵な出会いを



読者プレゼント
 同封のハガキにご意見・ご感想・質問などお気軽にお寄せください。
旅行券 10万円分
 抽選で1名様にプレゼント
 応募締切 平成29年11月30日(木)
 ※当選者には、こちらからお届けに伺います。

いざ葬儀になった時の為に
お葬儀スケジュール

項目	流れと手順
ご臨終	・病院にて死亡・自宅にて死亡の場合、医師の検死をうける。
ご遺体の搬送	当社霊台車にて病院から自宅へ
枕飾り	ご遺体を安置する。枕飾りをセットする。
枕づとめ(枕経)	菩提寺(お手つき寺)へ連絡→枕経の依頼(仮通夜をする場合は読経の依頼をする。)
通夜・葬儀の日程	お寺さんと打合せ、通夜・葬儀の場所と日時を決定する。僧侶の出席人数の把握。当社から斎場へ火葬の申込み。新聞の死亡広告をどうするか。朝刊の締切りは午後8時まで。
死亡広告	当社で手配いたします
お悔やみ	親戚・勤務先・知人・友人・町内会・同窓会・クラブ会・その他大切なお付き合いの方々へ
死亡の案内	故人が写っているお写真を複数点をご用意ください。
遺影写真(弔辞)	弔辞をお願いする場合は、お早めに。
葬儀内容を決める(葬儀会場の打合せ・読経書作成(献花・供物等の注文依頼)	会葬者の人数、葬式の規模、式場の設営、生花、籠盛りの数、焼香順位、中陰出席人数、貸衣装など。
役割分担(世話係)	世話役の決定 受付係、会計係等。
仮通夜	親戚関係者で仮通夜を行う。

第2日目 お葬儀の打合せから通夜まで

時間帯	項目	流れと手順
午前	料理の打合せ	中陰料理、引き出物、親戚・世話係の夜食、朝食(葬儀当日)
午後 14:30 ~ 16:00	納棺(30分程)	一緒にお納めしたいものがあれば、ご用意ください。
午後 17:30	各世話係集合	各世話係(受付等)は17時30分に集合。
午後 18:00	通夜開式前	遺族は会葬者の状況を見て早めに所定の席に着く。
午後 19:00	通夜	喪主は通夜の読経が終了後に弔問御礼の挨拶をする。(喪主の代わりに遺族・親族の代表でもよい)
午後 20:00	通夜振舞 式当日の準備	親戚・世話係に夜食を出す。 ①焼香順帳の清書。②弔辞の有無(氏名・肩書きなど)と弔電の整理。③お布施の用意。④料理・引き出物の数の確認。

第3日目 お葬儀当日(10時間式の場合)

時間帯	項目	流れと手順
午前 8:30	司会打合せ 料理の最終確認	司会者打合せ(弔辞・焼香順位・弔電)の確認。 中陰出席人数等の最終確認。
午前 9:00	各世話係集合 葬儀開式前	各世話係(受付等)は開式1時間前に集合。 遺族・親族は1時間前に式場にて着席待機。
午前 9:30	僧侶到着	お布施を渡す。
午前 10:00	葬儀開式	
午前 11:00	出棺	乗車の確認、出発。
午前 11:30	火葬	斎場にて骨ガメを購入。
午後 13:00	中陰法要	火葬場より帰り次第、中陰法要。(野返り及び初七日法要のこと)
午後 13:30	中陰御膳	喪主・遺族は、僧侶・招待者へお酌・挨拶をして回る。
午後 15:00	帰宅	遺骨を「後飾り祭壇」に安置。 後飾り祭壇は当社にてセットいたします。玄関幕・貼紙をはずす。玄関に忌中の貼紙を四十九日まで貼る。

※仏式の場合の一例です。

兼六互助センターからのお願い
 ■ご住所・ご連絡先が変わられた会員様へ
住所等変更をお知らせください
 お電話またはEメールにて受け付けております。
 ☎(076)242-0612 Eメール: muraigrp@po.incl.ne.jp

編集後記
 今回は当社のベテラン二人の紹介です。二人は、会館での葬儀はもちろんの事、お寺や自宅、公民館など、いろんな場所、あらゆる宗旨のエキスパートであります。今後、担当になった時は、安心してお任せ下さいませ。

一度きりの葬儀を大切に
 1級葬祭ディレクター 奥原勝文 & 1級葬祭ディレクター 木下愛魅
 人生の節目にまつわるお悩み解決 **Q&A** 葬儀になった時に困らないために



奥原 勝文 (おくはら かつぶみ) 1959年2月14日生
趣味は、ゴルフ。目標スコアは85！ たいだいま奮闘中です。

一度きりの葬儀を大切に

納棺の儀も外注せず 担当者が行っています

私が村井に入社した22年前は、葬儀というご自宅や寺院、近所の公民館で行うのが当たり前の時代でした。ところがちょうど、当社の第一号となる「セレモニー会館兼六西泉」がオープンすることを知った両親から「面接だけでも入社してみたら？」と勧められたのが入社のことからです。現在では当社の会館も、5館に増えました。多くの方にセレモニー会館をご利用いただける時代になったと実感しています。

私の仕事は、葬儀全般のディレク

女性だからこそできる 心配りを大切に

私の主な仕事は、葬儀の司会とご遺族のお世話です。葬儀全体のディレクションを行う男性スタッフとペアになり、ご遺族がご自宅にお骨を安置されるまで、場合によっては四十九日の法要までサポートさせていただきます。ただこれもありません。

村井に入社してから、15年が経ちました。入社のきっかけは、子どもが小学校に上がったこと。最初は人手が足りないときに、補助的な仕事をすることで。

ところが次第に仕事も増え、ある



木下 愛魅 (きのした まなみ) 1964年9月24日生
主婦、母親業をしながら、あっという間の15年でした。プリンとドライブが好きです。

ションです。病院まで故人をお迎へに行くところから始まって、ご遺族がお骨を抱いてご自宅に戻れるまで、一人の担当が一貫してすべてを担当します。祭壇を決めたり、焼香の準備をしたり、葬儀の内容について相談したりと、ご遺族と打ち合わせをしながら、多岐にわたって準備を進めます。

故人の身なりを整え、棺に納める「納棺」に関しては、同業他社では専門業者に頼むところもあります。ただし村井では、納棺を外注しない方針です。必ず私たち自身が納棺の儀式を担当します。

専門業者に頼むとその分、ご遺族にコストの負担がかかってしまいます。何より責任を持つてすべての工程を行うことで、ご遺族に安心して過ごしていただきたいというのが、私たちの考えです。

一度きりの葬儀だから 念には念を入れて

日々仕事をする上で大切にしているのは、ご遺族が疑問や不安を感じることのないよう、細部にわたって心を配ることです。基本的に細かい手配は事務員に任せますが、最終チェックは必ず自分で行います。もちろん当社の事務員は仕事熱心

ですし、信頼もしています。ただし葬儀では、誰もが予想しないようなハプニングが起こることもありま。複数の目でチェックすることが、思わぬ出来事や展開を防ぐ上で重要だと思っています。

いつでも初心に戻って 真心を込めた葬儀を

村井の特徴はやはり、一人の担当者が真心を込めて、すべてを担当することだと思っています。参列者の方からも「村井さんの葬儀は、細かい部分にまで気遣いが及んでいて、違うなと感じました」と言っていたことがあり、報われる思いでした。

仕事をすることで常々「初心に戻る」ことを心がけています。入社して22年、社歴で言えばベテランの域に入ってきました。でも、お客さまにとっては一回きりの葬儀。おはじめて「ありがとう」と言っていたいたときの喜びや、「また一生懸命やろう！」と奮起した気持ち。その感覚を思い出しながら、日々精進していると思っています。

とき「司会もしてみない？」と声をかけていただいて、専門的な講習を受けて司会をするようになり、今に至ります。初めて司会を担当したときは、それはもう緊張して……。でも回数を重ねれば重なるほど、意欲が出てきました。「お客様と接する機会が多いのは私たち女性スタッフ。大切な故人を送るご遺族の気持ちに、もっと寄り添えるようになりたい」と思うようになりました。

私の両親は早くに旅立ち、そのときに葬儀をあげたのが村井でした。大事な人を送るという経験をした私だからこそ、ご遺族に対しては並々ならぬ思いがあります。少しでもお客様の悲しみや不安が和らぐお手伝いができれば……。そんな思いから、声をかけるときも一つひとつ言葉を丁寧に選び、ご遺族の様子に目と心を配るようにしています。

「喪主様」ではなく 下のお名前です……

ご遺族に対して精一杯のことをして差し上げたい。頼つてもらえる存在になりたい。そんな思いから、ご遺族をお呼びするときは「喪主様」「次男様」という呼び方ではなく、下のお名前でお呼びしています。絶対間違えてはいけないと緊張しますが、お名前と呼ぶことで、

私にとってご遺族お一人おひとりとの距離が近くなります。ご遺族も一歩踏み込んだ関係性で接してくださいます。私自身も「愛魅ちゃんに担当してもらえて良かった」と言っていたこともあり、うれしかったです。

中学生のお孫さんから うれしいお言葉を！

日々ありがたいお言葉をいただきますが、特に思い出に残っているのが中学生のお孫さんのお言葉です。「おじいちゃんへの想いが伝わってきて、言葉が胸に響きました！私も将来、葬儀の司会がしたいです！」と言ってくれたことです。自分の仕事を見て、ご自身の目標にしているだけ。こんなにうれしいことはありません。これからは司会のスキルアップをはかろうと思いますし、違った形でお客様のサポートができるように、ディレクションのお手伝いもできたらと、私の夢は広がるばかりです。

公私共に心がけているのが、「穏やかに美しく」ということです。仕事や子育て、さまざまな経験をしたからこそ、今の自分があります。自分らしいペース、自分らしい振る舞い方で、穏やかに美しく、日々を過ごしていけたらいいなと思っています。

人生の節目にまつわるお悩み解決

Q & A

Q いざお葬儀になった時に、困らないために必要な事とは？



A 亡くなるとお寺様に枕経をあげてもらい、お葬儀の日程を決める事になります。

自分の家の菩提寺(お手つき寺)がどこかを確認しておく必要があります。

A どこまでの親戚に連絡するかを決め、連絡先をリストアップし

ておく。

お供え物や食事の名札など、間違えは失礼になりますので名前は確実に!!



A よく困るのが遺影写真。生前からご自身で用意される方もいらっしゃると思いますが、急に探すとなるとなかなか見つからないようです。ご家族で一度アルバムを見ておくことも大切かもしれません。

A 亡くなった方をご安置する場所を考えておく必要があります。自宅の場合、お仏壇があるお部屋となりますが、お部屋の間取りが悪く御安置できない場合や、マンション等で難しい場合もあります。その場合、当社の会館へお連れする事も可能です。